



発行人 福島県教職員組合
 発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
 [定価一部 20円]
 編集・責任者 國分俊樹
 e-mail : ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
 http://www.f-t-u.or.jp
 (この購読料は組合費に含まれています。)

今でしょ！ 20人学級の実現を！ ～教職員定数改善に向けた運動を～

学校が再開し、今までの業務に加えて、休校中の学習の遅れを取り戻すための授業や数々の「学校の新しい生活様式」への対応で、教職員は大変な状況になっています。特に、1学級20人以上の場合、教室内で1～2mの距離をとることは、物理的にも不可能です。さらに、担任には、休校中の家庭での学習状況や心身の状態によって、今まで以上に個別の対応が迫られています。

現在、日本の学級編成標準は40人となっており、OECD加盟国の初等学校平均21.4人、中等学校23.9人と比較すると、非常に多いことが分かります。2001年「30人以下学級推進法」が可決され、40人学級を据え置いたまま、都道府県の判断で、定数の弾力化が可能となりました。しかし、財源は全額自治体が負担することになり、地域間格差が危惧されています。

コロナ禍により、欧米諸外国では更に少人数にする議論が進められています。また、日本でもゆたかな学びと、ゆきとどいた教育をめざすために、何よりも「学校の新しい生活様式」のためには、20人未満の学級定数の実現を求めていく必要があります。

職場のみなさんからの声を日教組へ届け、文科省要請につなげています。さらに、「組合があるからこんなこともできる！」ということを共有し、組織拡大にもつなげましょう！



**今じゃないでしょ！
9月入学！**

コロナ禍対策として急浮上した「9月入学」に対して、拙速な導入をさせないためのネット署名行動をありがとうございました。
 私たちの声が届き、見送られました。

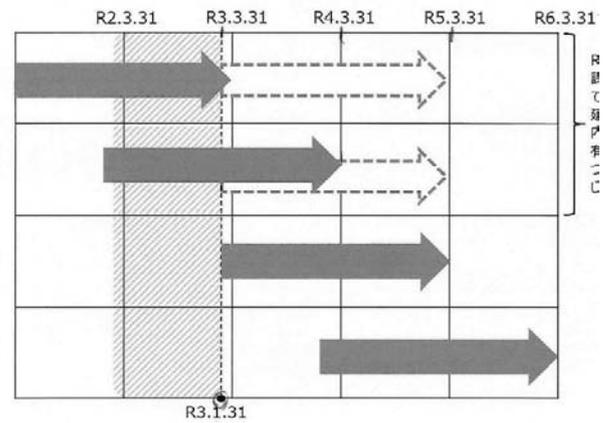
これで一安心 教員免許更新期限延期に！

「免許更新できなかつたらどうしよう？」と不安だった方も多かったと思います。これまで、組合員のみなさんからの声を要求にまとめ、県教委要請や文科省要請を行ってきました。

県教組は従来から、制度そのものを見直し、廃止を強く求めています。今回は、免許更新講習の終了期限の延期または教員免許状の有効期限の延長という通知を文科省から出させることができました。

新型コロナウイルス感染症対策のための学校教育活動の実施に伴う教員の業務量の増大等が、「やむを得ない事由」に当たると解し、**本人からの申請により延期又は延長を行うことができる**としています。

右イメージ図のように、該当日から2年2ヶ月以内の範囲内で延期又は延長を行うことができるようになりました。本人からの申請がなければ延期されないの、忘れずに申請することが大切です！





教職員必見!

コロナに負けない!

子どもと教職員のメンタルケア

シリーズ
3

子どもたちが落ち着かない…。

東日本大震災の時、子どもたちは、原発事故を含む震災の影響によるストレスを抱えていましたが、時間の経過とともにさらに、家族の不和、経済問題などが増加していきました。今回のコロナ禍においても、家族の休業による収入減、長引く休校措置による家庭生活での諸問題から、同様の傾向が考えられます。

こうした状況において、2012年に文科省緊急スクールカウンセラー等派遣事業で作成された「こころのサポート映像集」DVDが活用できます。中でも、「学級ミーティング」の手法は、子どもが自らのことを話してもいいんだという安心感を持つことができるものです。

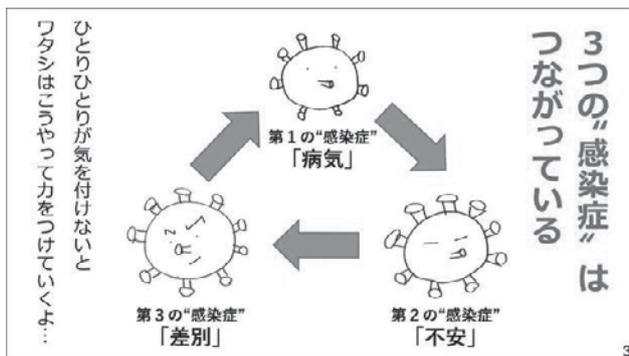
子どもと日々接している教職員がケアを行うのが理想ではありますが、今まで以上にコロナ禍による業務増と先の見えない中での教育活動への不安で、精神的、時間的にも余裕がないのが実情です。この事業は、専門性の高い臨床心理士が行う模範的な指導を映像教材として活用し、教職員に新たな負担をかけることなく、子どもたちへの理想的なケアと自らのケアを行うことを可能としています。各学校の保健室等に置かれています。県教委のホームページで検索しても資料を入手することができます。ぜひ活用してみてください!



差別や偏見をどう指導する?

新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見について考える教材として、日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」の資料を活用して授業を行ったという事例がありました。この感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることで、感染者、濃厚接触者、医療従事者、社会機能の維持にあたる方等とその家族に対する誤解や偏見に基づく差別は許されないことです。

分かりやすい指導資料がホームページからダウンロードして使えます。



(日本赤十字社資料)

教職員も不安・イライラたまります!

学校再開とともに、休校中のプリントの確認、家庭訪問、教育課程の見直し、人事評価制度の期首面談、研究授業の指導案検討等々が怒濤のように押し寄せ、極めつけに、子どもが下校した後の消毒作業…。夏季休業も削られ、本当にこの先、身も心も持つのだろうか。職場からの訴えが組合に届けられています。



そんな時は、県教組が行っている教職員のメンタルケアのための「職場でピアカウンセリング」事業を活用しましょう!互いに悩みや不安を出し合うことで、精神的な負担を和らげると同時に職場の人間関係を高める効果があります。悩める教職員の力になります!詳しくは、組合へおたずねください。



県教組の応援団！ 退職女性教職員の会 あけぼの会を紹介します



あけぼの会会長 池田芳江さん

「あけぼの会」をご存知でしょうか。正式には「福島県退職女性教職員あけぼの会」と言います。結成して55年になります。

女性教職員は、戦前・戦中、家制度の中で参政権や親権もなく、性差別社会の中で、初任給から男女差が当然、すべて男性優位の職場で、妊娠・出産は罪を犯すようなものだったといえます。

高田なほ子さん（福島県出身、日教組初代婦人部長、退女教初代会長、参議院議員）が妊娠した時、校長から「あなたは健康だからパンクするまで頑張ってください」と言われ、退勤時に陣痛におそわれ、近くの店主に助けられました。「あなたは教員としては優秀かもしれないが、人間として失格だ」と言われ、「その言葉が私の活動の原点、誰にも私のような経験をさせてはならない、今に見ていろ」と思ってやってきたと80才を過ぎた高田さんから聞きました。

1947年に結成された日教組に、女性たちは大きな希望を抱いて結集し、差別賃金の撤廃（日教組指令第1号、1947年）産休代替・生理休暇・育児休業など女性が働き続けるための権利を実現しました。それは一人の発言をみんなの声にし、全国連帯の力があつたからできたのです。権利は声をあげ行動しなければ獲得できません。「井戸を掘った人を忘れるな」と言いますが、先輩たちの闘いの上に今があることを肝に銘じたいと思います。1951年、平和の危機を感じ「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンを提案したのは婦人部でした。そして、自衛隊が創設された年、憲法を守ろう、子どもたちを守ろうと母と女性教職員が手を結ぶ運動を立ち上げました。

60年代になると、退職勧奨の嵐が吹き荒れました。定年制のない時代、共働きの女性が標的にされ、40代で辞めざるを得ない状況も多くありました。年金や医療制度も整わない中、貧困と孤独の世界に放り出されたと高田さんは言いました。教え子を戦場に送った痛恨の思いを持ち、権利獲得の闘いを経験してきた女性たちが「教え子を戦場に送らない」「自らの生活と権利は自らの手で」をめざし結成されたのが退職女性教職員の会（略称退女教）です。退職者組織の草分け的存在として今の年金・医療の基礎をつくり前進させてきました。そして、何より平和が大切と活動しています。

あけぼの会は「学ぶ旅」を企画していますが、今年、1月に沖縄を訪問し、辺野古での座り込みにも参加してきました。県内の養護施設への支援も続けています。「つながり・支えあい・一人ぼっちにしない」を合言葉に、親睦を深め、学びあいながら活動しています。

私たちは現職の皆さんの応援団でありたいと思っていますが、なかなかできていません。こんなときだからこそ、現職の皆さんと力を合わせて活動できたらと思います。 あけぼの会会長 池田芳江



沖縄辺野古座り込み行動に参加するあけぼの会のみなさん

は学校で! Monster 松



県教組の役員を紹介します!

役職名 県教組書記長次長

まつしたかずひと
名前 松下和史



●出身は?

郡山市出身ですが、今は須賀川市在中です

●得意技は?

誰とでも仲良くなれること。初対面の方と話すときもフレンドリーに話すことができます。

●弱点は?

夏の太陽。日焼けで皮膚が赤くなるため、炎天下での長時間の作業はツライです…。



役職名 県教組女性部長

あおとゆうこ
名前 青砥裕子

●出身は?

郡山市出身で、現在矢祭町に住んでいます。

●得意技は?

ささやかな幸せを見つけるのが得意(^_^) 多少のことではへこたれない!

●弱点は?

涙もろいこと。ちょっとしたことですぐに感動の涙が!

役職名 県教組青年部長

ふかやみなこ
名前 深谷美菜子



●出身は?

伊達市です。

●得意技は?

料理。いかに楽をして、おいしく仕上げるかを考えます。

●弱点は?

雷。幼いときから大嫌いです。

みんなのひろば

～伊達市のOさん
お気に入りのお店～



レガーレこおり/ピザスタ

伊達市醸芳中の近くにある「ピザスタ」四季折々の地元桑折町の食材を使って職人が焼き上げる本格ピザがおすすめです。店内の本格ピザ窯で職人が焼き上げる本格ピザなのに、リーズナブルなお値段。がんばったご褒美に、週に一度は通っています。

全国で「自転車保険」への
加入義務化が進んでいます!



ケガ・事故・賠償

レスキューズリー

交通災害共済

自転車保険への加入が

「義務」「努力義務」とされている自治体

- 「義務」とされている自治体
- 「努力義務」とされている自治体
- 2020年4月以降「義務」となる自治体

資料請求・
お問い合わせは

024 (523) 3011

厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合

